

情緒障害の幼児児童生徒の教育

自閉症や心理的な要因による選択性かん黙等のため、適切な行動をとりにくい児童生徒には、対人関係、言語・コミュニケーション能力及び認知能力の改善を図る指導を行います。



一日の生活リズムを身に付けることにより情緒の安定を図り、友達や教員と一緒に活動する喜びや楽しさを味わい、集団の雰囲気慣れることをねらいとした指導を行っています。また、必要に応じて、基本的な生活習慣の確立を図ること、適切に意思の交換を図ること、円滑な対人関係を築く方法の獲得等をねらいとした指導が行われます。

◎指導や支援の留意点

- ・絵カード、写真等の具体的な指示など見通しがもてるような配慮を行います。
- ・幼児児童生徒のペースを大切にされた指導や支援に当たることを基本とします。
- ・必要に応じて、医師や心理学の専門家等との連携による支援を行います。